

# Mbola村民より惠贈された鉄片について

駆逐艦菊月会

平成 29 年 11 月 21 日

## 1 鉄片の概要

平成 29 年 11 月 17 日、ソロモン諸島 Mbola 村にて、駆逐艦菊月のものとされる、以下に示す複数の鉄片を譲り受けた。同日、文化観光省より、これらの鉄片について、化学分析のための輸出許可を得た。同鉄片は、翌日までに日本への輸送を完了した。

現地での証言と写真資料を照合した結果、駆逐艦菊月の一部と同定できたため、この報告を行う。分類は National Museum に拠る。

### 1.1 鉄片 a 群

a.1

- 推定種別: 艦装用ネジ
- 同定位置: 第 4 砲架右後方頂部
- 測定値: 全長 22 mm, 軸長 9 mm, 軸径 9 mm

a.2

- 推定種別: 艦装用ネジ頭部
- 同定位置: 第 4 砲架左後方頂部
- 測定値: 全長 15.5 mm, 最大径 5 mm

所見: a.1 の軸長 9 mm のうち先端 3 mm ほどは第 4 砲台座に固定されていたためか金属光沢が残っており、状態は良好であった。風雨にさらされていたと思われる軸部及び頭部には赤錆が生じていたが浸食の程度は低かった。また、a.2 についても a.1 の頭部と同様であった。



図 1: a.1

## 1.2 鉄片 b 群

b.1

- 推定種別: 砲盾
- 同定位置: 第 4 砲架左後方側部
- 測定値: 50 mm x 64 mm, 右孔直径 10 mm, 左孔長径 14.5 mm, 左孔短径 11 mm
- 付属物 (非鉄ネジ): 軸径 9 mm, 頭径 16.5 mm

b.2

- 推定種別: 砲盾
- 同定位置: 第 4 砲台座左側基部
- 測定値: 82 mm x 45 mm
- 付属物 (非鉄ネジ): 軸径 9 mm

所見: 砲盾は、トウキヨウベイに放置された菊月には現存しないため確認することはできない。b 群はいずれも表面に赤錆を生じていたが、浸食の程度は低かった。b.1 および b.2 に付属しているネジはいずれも真鍮と思われる非鉄金属製で、それぞれ軸部、頭部の一部が失われていた。



図 2: b.1



図 3: b.2

### 1.3 鉄片 c 群

c.1

- 推定種別: 甲板
- 同定位置: 第 3 砲台座付近左側
- 測定値: 190 mm x 35 mm, 孔直径 12 mm

c.2

- 推定種別: 甲板
- 同定位置: 第 3 砲台座付近左側
- 測定値: 174 mm x 32 mm

c.3

- 推定種別: 甲板
- 同定位置: 第 3 砲台座付近左側
- 測定値: 183 mm

所見: c 群は、恵贈された際に、第 3 砲台座付近の甲板との説明があったが、詳細は不明であった。その後、調査したところ、平成 28 年 3 月に撮影された第 3 砲台座付近の写真に c 群のうち c.1 が確認できること。また、錆を除去したところ、一定の間隔でリベット様の機構および孔が c 群のいずれにも見られること。これらから、c 群はいずれも第 3 砲台座付近の甲板もしくはそれらの桁であると推定される。c 群はいずれも浸食の程度が高い。



図 4: 錆除去の様子



図 5: c.1



図 6: c.2



図 7: c.3

## 2 今後の予定

日本国内で化学分析を行う。